

仮想サーバとNetCommonsによる 簡易情報共有システムの迅速な構築

Rapid construction of simple information sharing system using virtual-server and NetCommons

(独)放射線医学総合研究所 研究基盤センター情報基盤部
National Institute of Radiological Sciences, Research, Development and Support Center, Dept. of Information Technology

大竹 淳、下村 岳夫、竹下 洋、取越 正巳
Jun Ohtake, Takeo Shimomura, Hiroshi Takeshita, Masami Torikoshi

■こんなことはありませんか？

遠隔地の研究者と気軽にディスカッションしたい

電子メールのやり取りだけでは追いつかない！

とにかく早く欲しい

特定のユーザ以外には非公開で

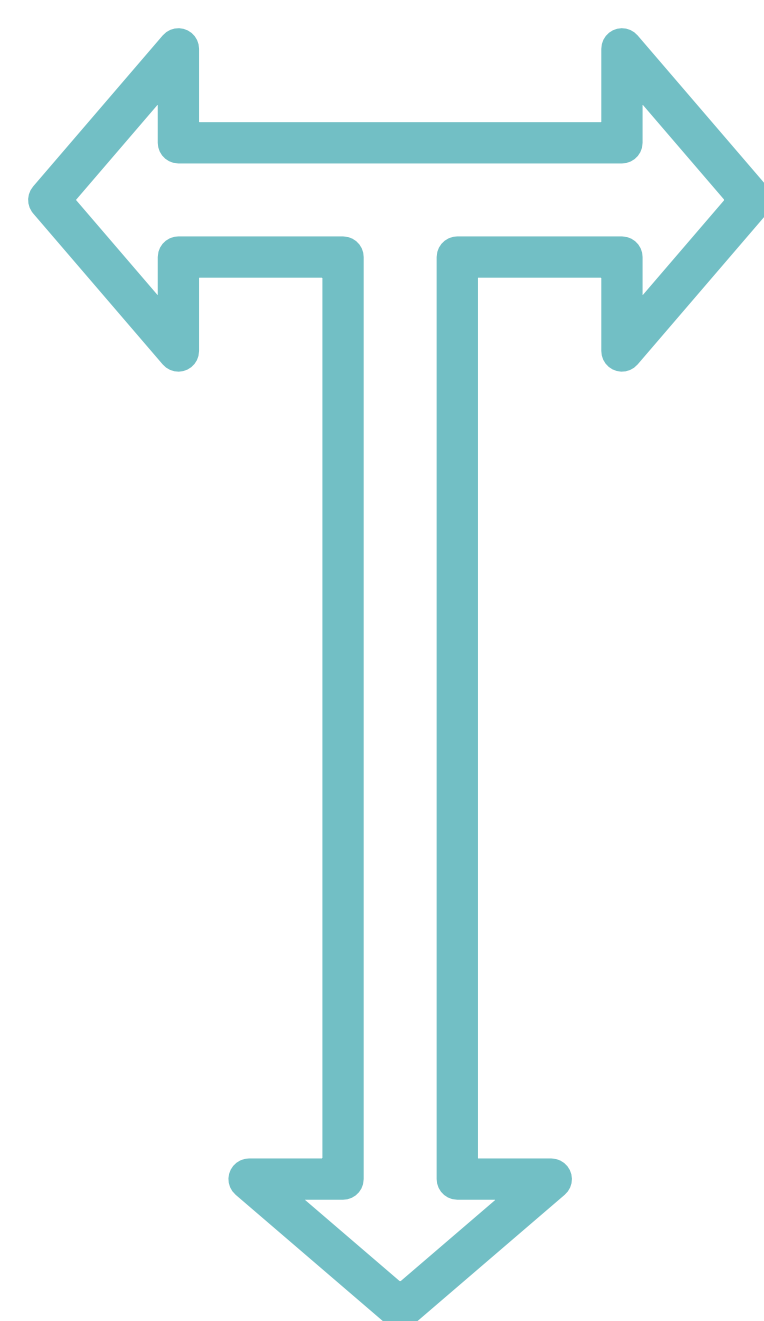
■それを阻む高い壁

お金がかかる・・・

セキュリティポリシーに抵触する・・・

時間がかかる・・・

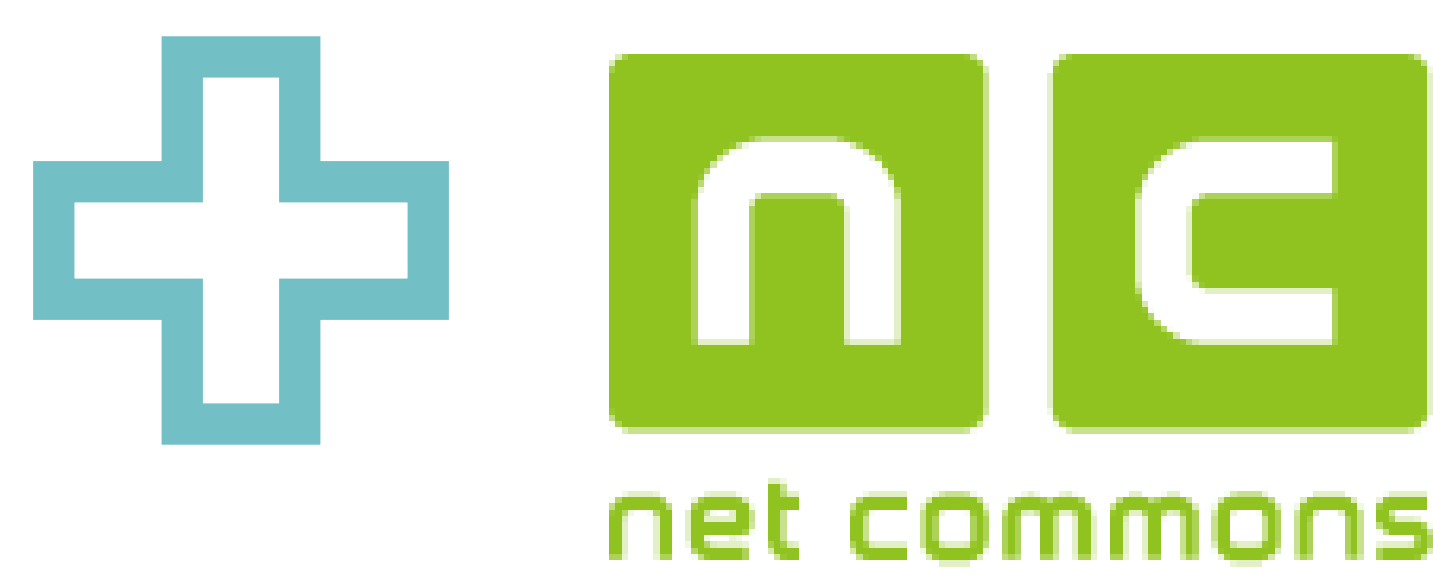
ウイルスや情報漏洩が怖い



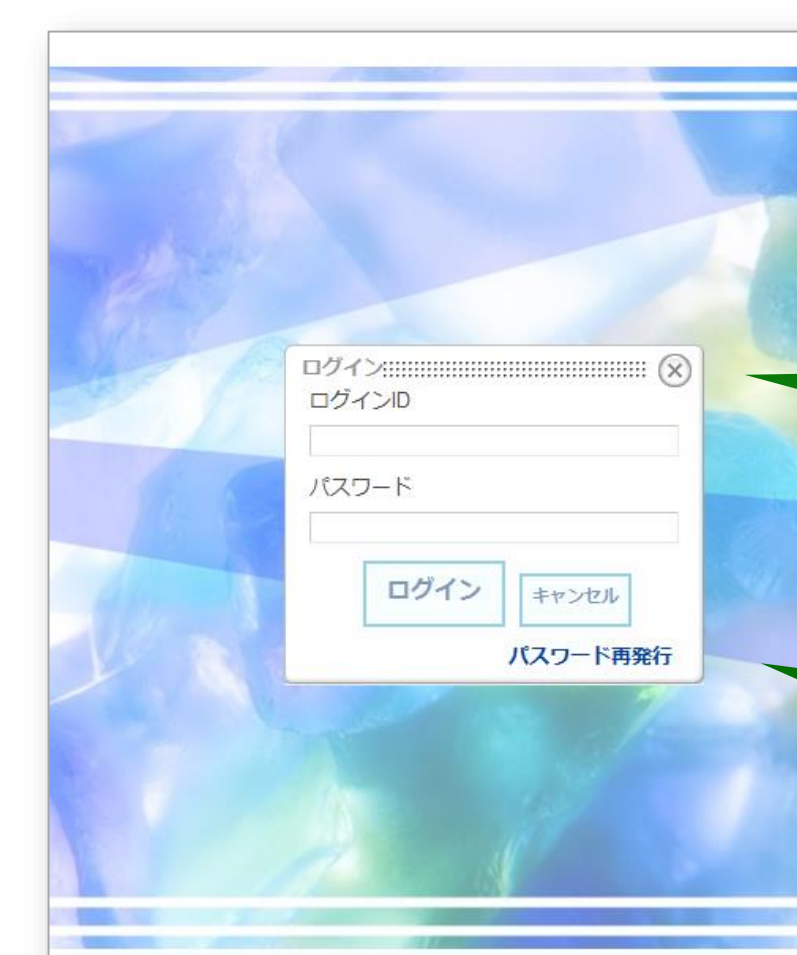
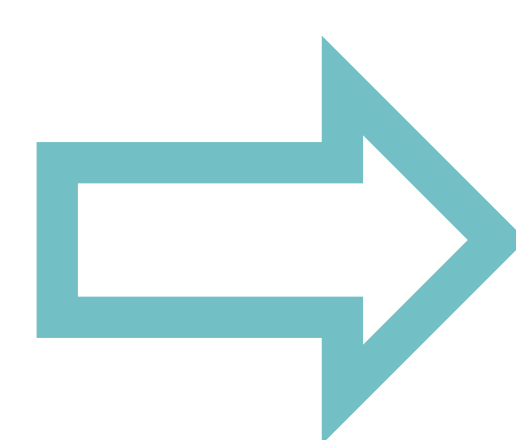
■問題解決



仮想サーバ



コンテンツ管理システム



情報共有WEBシステム

- 認証
- ファイルの Upload / Download
- スレッド型掲示板

■構築事例



● 1. 相談

文科省委託事業として年度内に有識者の意見・資料をとりまとめ成果物として納品するが、資料となるファイルは数十MBになり、電子メールで扱えない規模になってきた。限られたメンバ内で安全にファイル交換や意見交換を行えるシステムは無いかな？



● 2. 仕様確認

用途は？ 責任者は？ 利用者は？ ファイル容量はどのくらい必要？



● 3. 仕様決定

[H/Wスペック]
[基盤ソフトウェア]
[NetCommons]

CPU:3GHz、メモリ:2GB、ストレージ:60GB、
CentOS、Apache、PHP、MySQL
キャビネットモジュール、掲示板モジュール、認証、権限管理

● 4. WEBサイト構築

- ・仮想サーバ作成
- ・ネットワーク設定
- ・NetCommons設定



● 5. 運用開始

- ・ユーザ登録／権限設定
- ・稼働確認

最短記録！
2日間

画面イメージ



シンプルながらも使いやすく、十分な機能をもつWEBシステムとして、業務の大幅な効率化に貢献した。また、委託事業の終了後は仮想サーバを削除した。廃棄のコストがゼロである点も仮想サーバのメリットと言える。

■今後の課題

現状の仕組みでは対応可能な要件は非常に限られるため、今後はより広い要件範囲をカバーできる情報共有システム基盤として柔軟なシステム構築を実現するためのノウハウを獲得することを目指す。同時に運用ルールの整備やシステムの標準化を進めることで幅広い業務に手軽に活用できる環境を整えていく。

*1: VMwareはVMware社が製造・販売を行うコンピュータの仮想化用ソフトウェア製品です。

*2: NetCommonsはFreeBSDライセンスの下でオープンソースソフトウェアとして公開されています。NetCommonsのロゴマークは国立情報学研究所が属する情報・システム研究機構の著作物です。